

平成 28 年 12 月 8 日

鹿児島大学病院 整形外科・リウマチ外科 で

動脈瘤様骨嚢腫の治療を受けた患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

鹿児島大学病院整形外科・リウマチ外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

当科における動脈瘤様骨嚢腫症例の術前画像・臨床経過の検討

【研究機関】

鹿児島大学病院 整形外科・リウマチ外科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 整形外科・リウマチ外科

助教 佐々木裕美

【研究の目的】

動脈瘤様骨嚢腫とは、若年者の骨に発生するまれな良性骨腫瘍です。他の骨腫瘍の中でも、二次的な変化により動脈瘤様骨嚢腫様の画像所見を呈するものが存在します。動脈瘤様骨嚢腫の治療は他の良性骨腫瘍と同様に腫瘍搔爬と、骨移植術が基本です。動脈瘤様骨嚢腫の場合、術中出血が多くなることや、術後の再発率が他の良性骨腫瘍と比較すると高いことが問題となります。術前から動脈瘤様骨嚢腫であることが分かれば、手術前に血管造影検査を行い腫瘍血

管の塞栓術を行い術中出血を減らしたり、また、手術方法を工夫することでその再発率を減らすことができると考えます。当科にて治療を行った動脈瘤様骨嚢腫の患者さんの情報を集計し、検討することで術前診断の精度をあげ、今後の患者さんの治療に役立てることが目的です。

【研究の方法】

この研究は後ろ向き研究です。対象となる患者さんの診療録（カルテ）から以下に示すような情報を抽出し、集計します。

●対象となる患者さん

平成 13 年 1 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までに、鹿児島大学病院整形外科・リウマチ外科で動脈瘤様骨嚢腫と診断され、動脈瘤様骨嚢腫の治療を受けた患者さんを対象にしています。

●診療録（カルテ）から利用する情報

性別、年齢、腫瘍ができた部位、採血データ、手術前に行った画像検査の結果、病理診断、治療法、治療後の再発の有無

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科整形外科学分野の研究費（用途特定寄附金）で実施します。この研究は、研究者が独自に計画し、実施します。企業等の第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 整形外科・リウマチ外科

助教 佐々木裕美

電話 099-275-5381 FAX 099-265-4699